

健康増進編

1 健康診査

令和2年度に市区町村が実施した健康診査の受診者数は114,415人で、男54,351人、女60,064人となっている(表1)。

検査結果の状況をみると、「糖尿病個別健康教育対象者(ア)」36,829人、「高血圧症個別健康教育対象者(イ)」34,642人などとなっている(表2)。

表1 性別にみた健康診査における受診者数の年次推移

(単位:人)

	平成28年度 (2016)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)
総数	118 956	121 827	122 577	125 187	114 415
男	56 014	57 484	57 997	59 392	54 351
女	62 942	64 343	64 580	65 795	60 064

注:1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表2 性別にみた健康診査における検査結果の状況

(単位:人)

令和2(2020)年度

	受診者数	検査結果								
		血 圧		脂質異常		糖 尿 病		貧 血 (疑いを含む。)	肝 疾 患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数	114 415	12 438	34 642	21 900	30 981	36 829	15 639	15 735	17 764	20 474
男	54 351	5 957	18 015	11 043	14 580	17 325	8 804	7 481	10 582	9 837
女	60 064	6 481	16 627	10 857	16 401	19 504	6 835	8 254	7 182	10 637
		受診者数に占める割合(%)								
総数	100.0	10.9	30.3	19.1	27.1	32.2	13.7	13.8	15.5	17.9
男	100.0	11.0	33.1	20.3	26.8	31.9	16.2	13.8	19.5	18.1
女	100.0	10.8	27.7	18.1	27.3	32.5	11.4	13.7	12.0	17.7

注:「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者を行い、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者をいう。

2 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

令和2年度に市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は343,155人、骨粗鬆症検診の受診者数は260,732人となっている。

受診者数に占める各指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診67.4%、骨粗鬆症検診15.8%となっている。(表3)

令和2年度の市区町村における検診実施率は、歯周疾患検診75.2%、骨粗鬆症検診59.5%となっている(表4)。

表3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

令和2(2020)年度

		受診者数 ¹⁾	指導区分					
			要精検者		要指導者		異常認めず	
			受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)		
歯周疾患検診	総数	343 155	231 169	67.4	77 128	22.5	34 827	10.1
	40歳	81 162	50 913	62.7	21 398	26.4	8 842	10.9
	50歳	83 409	55 042	66.0	20 150	24.2	8 213	9.8
	60歳	76 483	52 832	69.1	16 413	21.5	7 226	9.4
	70歳	102 101	72 382	70.9	19 167	18.8	10 546	10.3
骨粗鬆症検診 ²⁾	総数	260 732	41 160	15.8	73 250	28.1	146 232	56.1
	40歳	27 528	565	2.1	3 259	11.8	23 700	86.1
	45歳	23 957	579	2.4	2 931	12.2	20 438	85.3
	50歳	34 133	1 188	3.5	5 132	15.0	27 806	81.5
	55歳	30 902	2 928	9.5	7 751	25.1	20 209	65.4
	60歳	37 376	6 321	16.9	13 147	35.2	17 900	47.9
	65歳	44 887	10 725	23.9	17 152	38.2	16 994	37.9
70歳	61 949	18 854	30.4	23 878	38.5	19 185	31.0	

注:1)指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2)「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診 ³⁾				
	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
	(2016)	('17)	('18)	('19)	('20)	(2016)	('17)	('18)	('19)	('20)
実施市区町村数	1 121	1 181	1 261	1 337	1 307	1 082	1 085	1 087	1 081	1 033
検診実施率 ¹⁾ (%)	64.5	68.0	72.6	77.0	75.2	62.3	62.5	62.6	62.2	59.5
全国市区町村数 ²⁾	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737	1 737

注:1)検診実施率=(実施市区町村数/全国市区町村数)×100

2)「全国市区町村数」のうち、高知県安芸郡奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村については、中芸広域連合として数えたものである。

3)「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

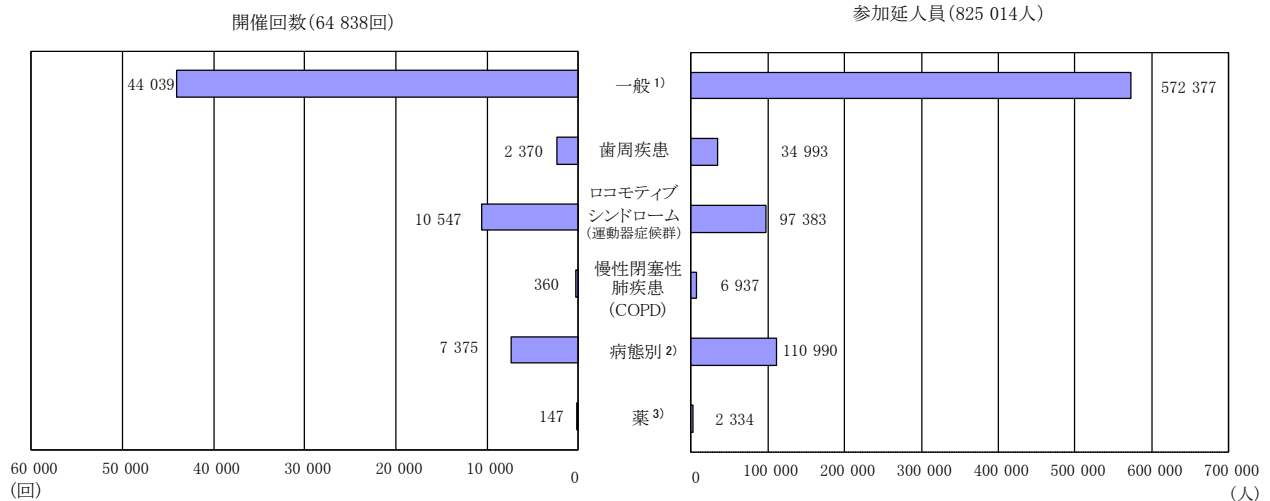
3 健康教育

令和2年度に市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は64,838回(令和元年度129,988回)、参加延人員は825,014人(令和元年度2,389,701人)となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況

令和2(2020)年度



注: 1) 「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

2) 「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。

3) 「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

4 健康相談

令和2年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は601,991人であり、そのうち重点健康相談は194,112人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が63,919人と最も多くなっている。(表5)

表5 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成28年度 (2016)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)
総 数		1 296 383	1 239 899	1 171 722	1 109 938	601 991
重点 健康 相談	総 数	479 158	456 955	424 630	402 721	194 112
	高 血 圧	79 985	72 065	63 707	63 210	34 597
	脂 質 異 常 症	23 224	23 033	21 315	20 441	12 839
	糖 尿 病	34 186	34 204	34 361	35 868	19 970
	歯 周 疾 患	77 346	73 050	68 835	65 447	20 057
	骨 粗 鬆 症	96 192	93 220	85 777	76 305	30 183
	女 性 の 健 康 病 態 別 ¹⁾	19 859	21 795	18 390	18 916	12 547
総 合 健 康 相 談		817 225	782 944	747 092	707 217	407 879

注:1) 「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「女性の健康」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

5 訪問指導

令和2年度に市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は122,853人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が72,570人(59.1%)と最も多くなっている(表6、図2)。

表6 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員の年次推移

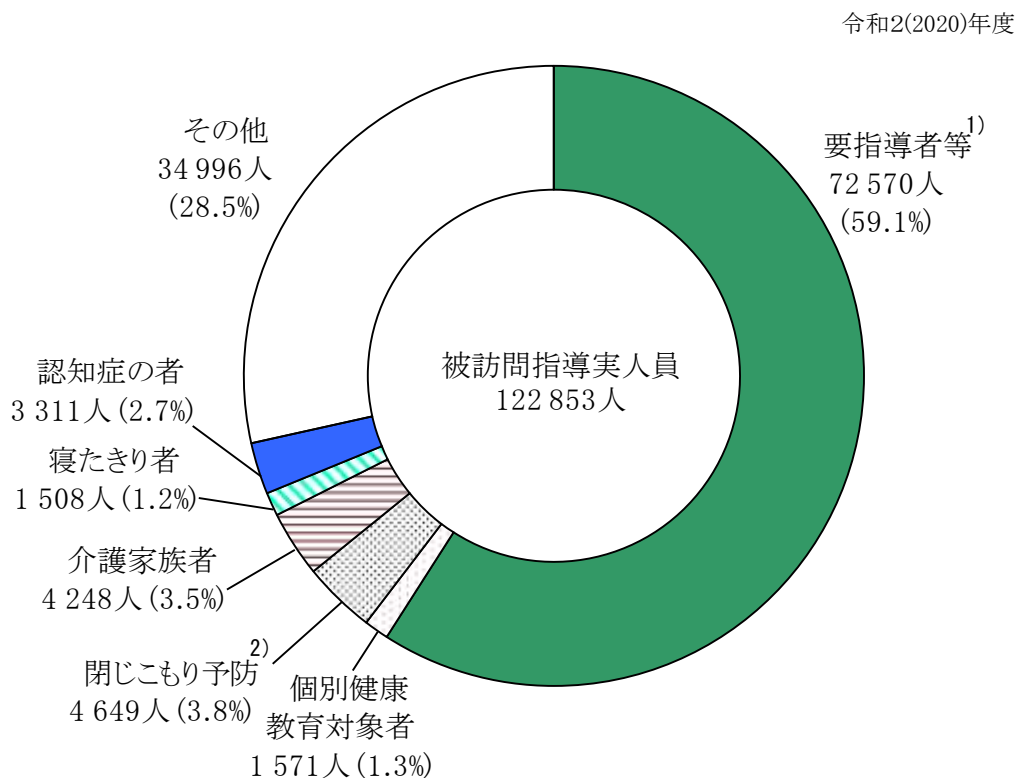
(単位:人)

	平成28年度 (2016)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)
総数	208 467	189 186	194 002	178 728	122 853
要指導者等 ¹⁾	129 543	121 242	118 098	108 128	72 570
個別健康教育対象者	2 867	2 904	2 527	2 433	1 571
閉じこもり予防 ²⁾	6 748	5 825	5 113	5 335	4 649
介護家族者	6 348	5 594	5 111	4 935	4 248
寝たきり者	3 297	2 588	2 138	1 794	1 508
認知症の者	4 600	4 235	4 399	3 659	3 311
その他	55 064	46 798	56 616	52 444	34 996

注: 1) 「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導が必要な者をいう。

2) 「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

図2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注: 1) 「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導が必要な者をいう。

2) 「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

6 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

令和2年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」7.0%、「肺がん」5.5%、「大腸がん」6.5%、「子宮頸がん」15.2%、「乳がん」15.6%となっている(表7)。

表7 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

		平成28年度 (2016)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)
胃がん	受診者数	1 998 387	1 862 265	1 766 448	1 643 782	1 238 125
	受診率 ¹⁾ (%)	8.6	8.4	8.1	7.8	7.0
肺がん	受診者数	4 071 463	3 881 044	3 686 194	3 469 659	2 767 645
	受診率 ¹⁾ (%)	7.7	7.4	7.1	6.8	5.5
大腸がん	受診者数	4 639 186	4 391 031	4 181 664	3 962 860	3 312 944
	受診率 ¹⁾ (%)	8.8	8.4	8.1	7.7	6.5
子宮頸がん	受診者数	3 805 018	3 693 850	3 632 852	3 548 256	3 205 650
	受診率 ¹⁾ (%)	16.4	16.3	16.0	15.7	15.2
乳がん	受診者数	2 563 703	2 433 671	2 412 810	2 344 305	1 947 967
	受診率 ¹⁾ (%)	18.2	17.4	17.2	17.0	15.6

注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV 用語の解説」27、28頁「がん検診」及び「がん検診受診率」参照。

1) 受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の分布状況

令和2年度の市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「0~10%未満」と低い市区町村数は、「肺がん」が1,119(全国市区町村数に占める割合64.4%)と最も多く、次いで「大腸がん」が1,031(同59.4%)となっている(表8、図3)。

表8 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

令和2(2020)年度

	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 737	917	650	109	23	1	2
肺がん	1 737	1 119	507	89	14	1	4
大腸がん	1 737	1 031	600	90	9	1	2
子宮頸がん	1 737	185	910	506	91	16	6
乳がん	1 737	92	778	585	195	47	13

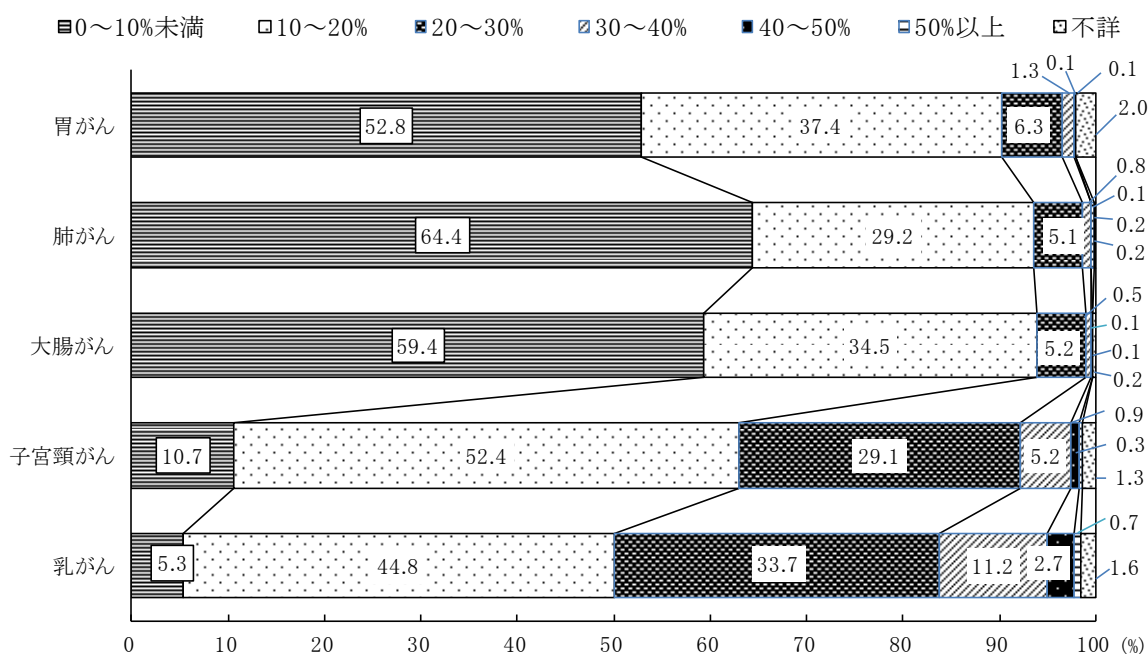
注:「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

1) 「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

なお、「全国市区町村数」のうち、高知県安芸郡奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村については、中芸広域連合として数えたものである。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

令和2(2020)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

(3) 令和元年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

令和元年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうち、がんであった者数のがん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.12%、「肺がん」0.03%、「大腸がん」0.17%、「子宮頸がん」0.02%、「乳がん」0.30%となっている（表9）。

表9 令和元年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

(単位:人)

令和元(2019)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	1 642 576	3 466 673	3 961 985	3 547 376	2 344 748
要精密検査者数 ¹⁾	107 024	55 500	234 661	85 209	147 806
精密検査受診率 ²⁾ (%)	84.1	83.0	69.8	74.6	89.2
がん検診受診者数に対する割合 (%)	6.52	1.60	5.92	2.40	6.30
がんであった者数 ¹⁾	1 958	1 070	6 543	858	6 949
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.12	0.03	0.17	0.02	0.30
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.83	1.93	2.79	1.01	4.70
精密検査未受診者数 ¹⁾	6 315	3 637	29 177	5 422	4 599
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	5.9	6.5	12.4	6.1	3.1
精密検査未把握者数 ¹⁾	10 705	5 921	41 803	16 203	11 267
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	10.0	10.6	17.8	19.3	7.7

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

1) がん検診受診者数については令和元年度受診者を令和2年度報告で改めて把握したものである。また、令和2年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

2) 率の算出に当たっては、「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、「IV 用語の解説」28頁参照。

7 肝炎ウイルス検診

令和2年度に市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」589,288人、「C型肝炎ウイルス検診」589,044人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は3,156人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者は1,234人となっている。(表10)

令和2年度に市町村が実施した肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は337回、参加延人員は5,797人、健康相談の開催回数は1,387回、参加延人員は6,330人となっている(表11)。

表10 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人)

令和2(2020)年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者
総数	589 288	3 156	589 044	1 234
40歳	72 017	166	72 046	25
41～44歳	48 982	144	49 074	53
45～49歳	55 673	216	55 794	68
50～54歳	58 623	251	58 745	90
55～59歳	53 047	253	53 120	98
60～64歳	65 943	404	65 932	150
65～69歳	89 134	608	88 968	178
70～74歳	80 599	633	80 317	219
75～79歳	34 439	294	34 319	103
80歳以上	30 831	187	30 729	250

表11 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況の年次推移

		平成28年度 (2016)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	2年度 ('20)
健康教育	開催回数(回)	1 114	992	779	727	337
	参加延人員(人)	45 399	42 942	36 443	17 340	5 797
健康相談	開催回数(回)	2 498	1 961	1 833	1 784	1 387
	参加延人員(人)	10 038	9 758	10 355	9 133	6 330